

方策進行管理シート

令和4年度 尾道市立高西中学校

目標達成のための方策	活動	4月	5月	6月	7月	活動達成度	方策達成度	取組評価	
		目標数	目標数	目標数	目標数				
		達成数	達成数	達成数	達成数				
授業改善のカリマネの推進	①一人1回研究授業、逆向き単元構想図の作成	逆向きの単元構想図を活用することで、付けたい資質・能力や働かせたい見方・考え方を明確にした授業を行う。	計画・実施	実施	実施	評価	A	A	A
	②生徒の実態に合わせた、主体性を引き出す工夫	既存知識との「ずれ」や「発見」から「なぜ」という疑問を持たせたりや、生徒の生活に関連付けたりすることによって、生徒にとって学ぶ必然性のある課題を設定をする。	計画・実施	実施	実施	評価	B	B	B
	③見方・考え方を働かせ、深い学びを引き出す工夫	各教科で働かせたい見方・考え方を意識し、比較・分類・関連付けで考えを深める手立てを取り入れる。	計画・実施	実施	実施	評価	B	B	B
	④対話的な学び合いを実現し、表現力を育成する工夫	資質・能力の定着に向け、生徒の考えを広げ、深めるための協働学習を行う。また、生徒が言葉や情報を使いこなし、理由を明確にして表現するための機会を設定する。	計画・実施	実施	実施	評価	B	B	B
	⑤学力分析と改善計画⇒実行	学力調査(標準学力、全国学力、実力テスト等)をもとに、通過率の低い問題を元に分析し、改善計画を立て実行する。定期的に見直しをする。	計画・実施	実施	実施	評価	B	B	B
	⑥小学校との互見授業・交流の実施	授業改善の共通意識を持ち、小中の学びのつながりをもたせる。また、互見授業の実施をきっかけとし、より良い授業づくりのための、小中の教員の交流の機会を増やす。	計画・実施	実施	実施	評価	A	A	A
特別活動(集団づくり)の推進	○自己実現力の向上【自立】	・学期のはじめと終わりに「学びの地図」を活用した振り返りの実施 ・学期に一度のロールモデルによる講演会の実施 ・学期に一度の総合的な学習の時間とのクロスカリキュラムの作成と実施	計画	実施	実施	改善	A	A	A
	○学級力向上プロジェクトを軸とした取組【協働】	・学級力アンケートの実施と、アンケートをもとにしたパワーアップアクションの策定 ・教室掲示によるカリマネの推進 ・学級力アンケートとアセスを関連させたより確かな生徒理解の実施	計画	実施	実施	改善	A	A	A
	○生徒と共に創る生徒会活動と学校行事【創造】	・生徒会執行部を中心とした自治的な委員会活動の実施 ・学校行事と関連させた話し合い活動の実施	計画	実施	実施	改善	A	B	A
働き方改革のカリマネの推進	○学校教育目標(最上位目標)の実現に向け、自己エンジンをもった役割(校務分掌)の遂行【自立】	面談を通じて、「学校評価」と「業績評価(自己申告)書」のつながりを意識させ、学校経営の一翼を担う自覚を促す。また、日常的な指導、コミュニケーションにより、教職員一人一人の職能成長に対するモチベーションの向上を促す。	面談実施(全教職員)		指導、コミュニケーション(全教職員)		B	A	B
	○一人一人が知恵を出し合い目標実現に向けてチームで協力する【協働】 ○新たな価値(改善策)を提案する【創造】	学校経営会議を毎週定期的開催し、校長の方針を踏まえた、各分掌における実践を主任・主事のリーダーシップのもと協働して進められるように支援する。	分掌等、業務分担の改善	実施	実施	点検・改善	B	B	B